

そっくりさん現る

動物応用科学科 4 年 八木愛

「何だこれ!？」

顕微鏡を使ってカエルの胃内容物を分析していた時のことだ。

アリやら甲虫やらの昆虫に混じって、見たことのない物体が姿を現した。まん丸のガラス玉のようなものに、細長いストローのようなものがくっついていて、黒い眼のようなものが1対。おそらく何かの虫の頭なんだろう。しかし私の脳裏には全く別のものがよぎった。

瞬間、私は近くにいた後輩Eを呼んでしまった。

「ねえねえ、サ○エルみたいなのが出てきたんだけど!!!」

サ○エルとは、某人気アニメのキャラクターである。

「うわー本当だー!! サ○エルだー!!!」

「えっ、サ○エル??」

ネタが通じる人が集まってきて、皆でワイワイと騒ぐ。見たことがないということに加え、キャラクターに似ているのだから皆興奮気味だ。しばらく騒いだ後、誰かがぼつりと呟いた。

「で、結局これは何だろうね?」

虫の頭だということはわかるが、何の虫かはわからない。長いストローのようなものがついていることから、鱗翅目か、それともサシガメの仲間なのだろうか、と考えたがどうも違う気がする。

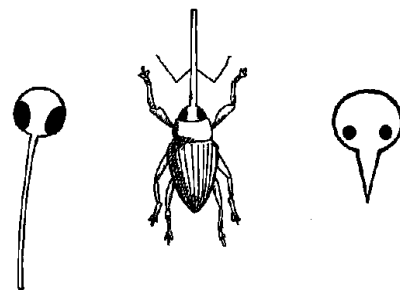
全く見当がつかないので先生に相談してみると、

「これはクリシギゾウムシだね」

「クリシギゾウムシ…へー、ゾウムシなんですか〜!!」

なんと、ゾウムシだという。確かに、ゾウムシと言えばあのゾウのような長い吻だ。しかし、私の中でのゾウムシと言えばイネゾウムシ、という勝手なイメージだったためこんなに長い吻を持つゾウムシがいるとは思わなかった。調べてみると、日本には約1000種のゾウムシ科がいるそうである。クリシギゾウムシはクリに穴をあけてその中に卵を産むんだそうで、今度クリが落ちていたら穴がないか観察してみようかと考えている。元々、チョッキリや、オトシブミ、ゾウムシなど面白い形をしている昆虫が印象に残っていて、ちょっと興味があったのだが、今回のこの出来事でゾウムシが好きになってしまいそうである。卒業論文に目処が立ったら勉強してみようか…などと思っているくらいだ。

それにしても、似ている。



左から、クリシギゾウムシ頭のみ、クリシギゾウムシ、サ○エル